

ポートの再マッピング手順 StorageGRID 11.8

NetApp May 17, 2024

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/storagegrid-118/maintain/removing-portremaps.html on May 17, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ポートの再マッピング手順	 	. 1
ポートの再マッピングを削除	 	. 1
ベアメタルホストでのポートの再マッピングを削除します・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 	. 2

ポートの再マッピング手順

ポートの再マッピングを削除

ロードバランササービスのエンドポイントを設定する場合、ポートの再マッピングのマ ッピング先ポートとしてすでに設定されているポートを使用するには、まず既存のポー トの再マッピングを削除する必要があります。そうしないと、エンドポイントが有効に なりません。ノードのすべてのポートの再マッピングを削除するには、再マッピングさ れたポートが競合している各管理ノードおよびゲートウェイノードでスクリプトを実行 する必要があります。

このタスクについて

この手順 は、ポートの再マッピングをすべて削除します。一部の再マッピングを保持する必要がある場合 は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

ロードバランサエンドポイントの設定については、を参照してください "ロードバランサエンドポイントの設定"。



ポートの再マッピングでクライアントアクセスが可能な場合は、サービスの中断を回避するために、別のポートをロードバランサエンドポイントとして使用するようにクライアントを再設定します。そうしないと、ポートマッピングを削除するとクライアントアクセスが失われるため、適切にスケジュールを設定する必要があります。



この手順 は、ベアメタルホスト上のコンテナとして導入した StorageGRID システムでは機能 しません。の手順を参照してください "ベアメタルホストでのポートの再マッピングの削除"。

手順

- 1. ノードにログインします。
 - a. 次のコマンドを入力します。 ssh -p 8022 admin@node IP

ポート 8022 はベース OS の SSH ポートで、ポート 22 は StorageGRID を実行しているコンテナエン ジンの SSH ポートです。

- b. に記載されているパスワードを入力します Passwords.txt ファイル。
- C. 次のコマンドを入力してrootに切り替えます。 su -
- d. に記載されているパスワードを入力します Passwords.txt ファイル。

rootとしてログインすると、プロンプトがから変わります \$ 終了: #。

- 2. 次のスクリプトを実行します。 remove-port-remap.sh
- 3. ノードをリブートします。 reboot
- 4. コマンドシェルからログアウトします。 exit
- 5. 再マッピングされたポートが競合している管理ノードおよびゲートウェイノードごとに上記の手順を繰り 返します。

ベアメタルホストでのポートの再マッピングを削除します

ロードバランササービスのエンドポイントを設定する場合、ポートの再マッピングのマ ッピング先ポートとしてすでに設定されているポートを使用するには、まず既存のポー トの再マッピングを削除する必要があります。そうしないと、エンドポイントが有効に なりません。

このタスクについて

ベアメタルホストで StorageGRID を実行している場合は、ポートの再マッピングを削除する一般的な手順 で はなく、この手順 に従ってください。ノードのすべてのポートの再マッピングを削除してノードを再起動す るには、再マッピングされたポートが競合している各管理ノードおよびゲートウェイノードのノード構成ファ イルを編集する必要があります。



この手順 は、ポートの再マッピングをすべて削除します。一部の再マッピングを保持する必要 がある場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

ロードバランサエンドポイントの設定については、 StorageGRID の管理手順を参照してください。



この手順 では、ノードの再起動時にサービスが一時的に失われる可能性があります。

手順

- ノードをサポートしているホストにログインします。root として、または sudo 権限を持つアカウントで ログインします。
- 2. 次のコマンドを実行して、ノードを一時的に無効にします。 sudo storagegrid node stop *node- name*
- 3. vim や pico などのテキストエディタを使用して、ノードのノード構成ファイルを編集します。

ノード構成ファイルは、にあります /etc/storagegrid/nodes/*node-name*.conf。

4. ノード構成ファイルで、ポートの再マッピングが含まれているセクションを探します。

次の例の最後の2行を参照してください。

```
ADMIN NETWORK CONFIG = STATIC
ADMIN NETWORK ESL = 10.0.0.0/8, 172.19.0.0/16, 172.21.0.0/16
ADMIN NETWORK GATEWAY = 10.224.0.1
ADMIN NETWORK IP = 10.224.5.140
ADMIN NETWORK MASK = 255.255.248.0
ADMIN NETWORK MTU = 1400
ADMIN NETWORK TARGET = eth1
ADMIN NETWORK TARGET TYPE = Interface
BLOCK DEVICE VAR LOCAL = /dev/sda2
CLIENT_NETWORK CONFIG = STATIC
CLIENT NETWORK GATEWAY = 47.47.0.1
CLIENT NETWORK IP = 47.47.5.140
CLIENT NETWORK MASK = 255.255.248.0
CLIENT NETWORK MTU = 1400
CLIENT NETWORK TARGET = eth2
CLIENT NETWORK TARGET TYPE = Interface
GRID NETWORK CONFIG = STATIC
GRID NETWORK GATEWAY = 192.168.0.1
GRID NETWORK IP = 192.168.5.140
GRID NETWORK MASK = 255.255.248.0
GRID NETWORK MTU = 1400
GRID NETWORK TARGET = eth0
GRID NETWORK TARGET TYPE = Interface
NODE TYPE = VM API Gateway
PORT REMAP = client/tcp/8082/443
PORT REMAP INBOUND = client/tcp/8082/443
```

5. PORT_REMAP エントリと PORT_REMAP_INBOUND エントリを編集して、ポートの再マッピングを削 除します。

PORT_REMAP =
PORT_REMAP_INBOUND =

6. 次のコマンドを実行して、ノードのノード構成ファイルに対する変更を検証します。 sudo storagegrid node validate *node-name*

エラーや警告がある場合は、次の手順に進む前に対処してください。

- 次のコマンドを実行して、ポートの再マッピングを使用せずにノードを再起動します。 sudo storagegrid node start node-name
- 8. に記載されているパスワードを使用して、ノードにadminとしてログインします Passwords.txt ファイル。
- 9. サービスが正しく開始されることを確認します。
 a. サーバ上のすべてのサービスのステータスのリストを表示します。sudo storagegrid-status

ステータスは自動的に更新されます。

b. すべてのサービスのステータスが「 Running 」または「 Verified 」になるまで待ちます。

- c. ステータス画面を終了します。Ctrl+C
- 10. 再マッピングされたポートが競合している管理ノードおよびゲートウェイノードごとに上記の手順を繰り返します。

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となりま す。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保 証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示 的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損 失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、 間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知さ れていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為(過失またはそうで ない場合を含む)にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。 ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じ る責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップ の特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について:政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013(2014年2月)およびFAR 5252.227-19(2007年12月)のRights in Technical Data -Noncommercial Items(技術データ - 非商用品目に関 する諸権利)条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス(FAR 2.101の定義に基づく)に関係し、デー タの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよび コンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対 し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有 し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使 用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開 示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権 については、DFARS 252.227-7015(b)項(2014年2月)で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。